

WEALTH GROWTH 月間運用実績レポート

(2025年5月)

■ 5月のパフォーマンス

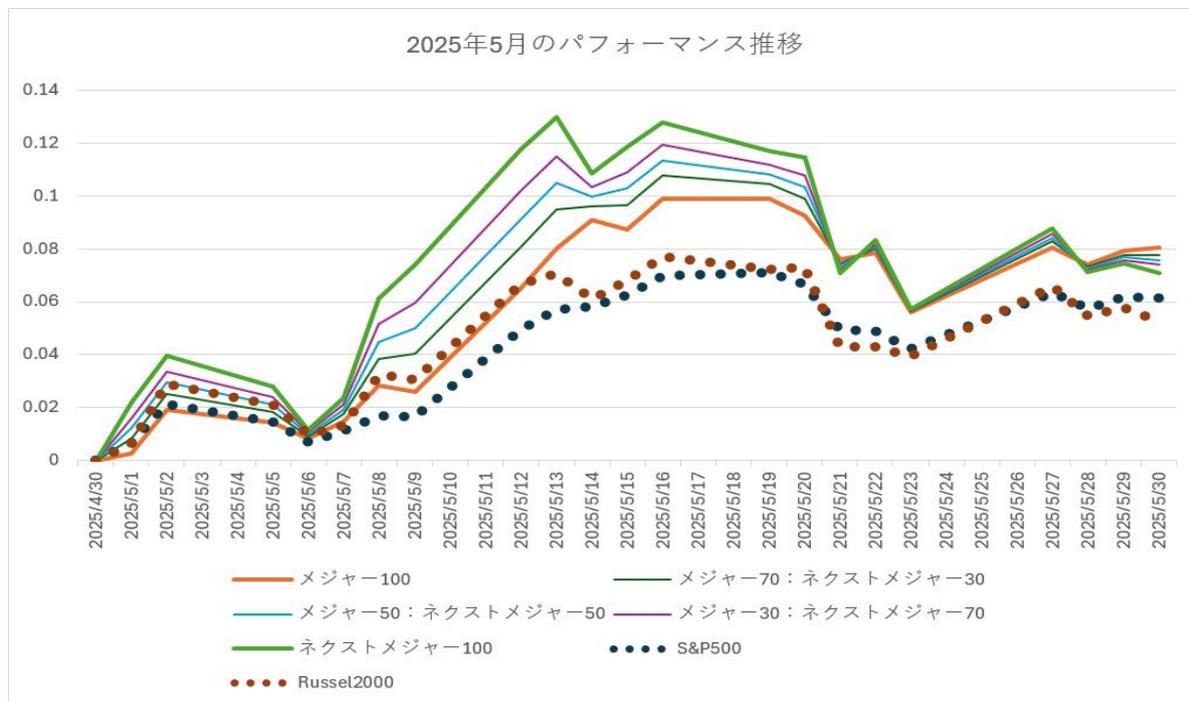
➤ ファンドの月間パフォーマンス

メジャー100	+8.06 %
ネクストメジャー100	+7.09 %

➤ 各指標の月間騰落率

S&P 500	+6.15 %
Russel2000	+5.24 %
NASDAQ	+9.56 %
NY ダウ	+3.94 %

➤ 運用コース毎のパフォーマンス



順位	戦略名	月間パフォーマンス	ベンチマーク	ベンチマーク比
1位	メジャー100	8.06%	S&P500	1.91%
2位	メジャー70：ネクストメジャー30	7.77%	S&P500 (70%) Russel2000 (30%)	1.89%
3位	メジャー50：ネクストメジャー50	7.58%	S&P500 (50%) Russel2000 (50%)	1.88%
4位	メジャー30：ネクストメジャー70	7.38%	S&P500 (30%) Russel2000 (70%)	1.87%
5位	ネクストメジャー100	7.09%	Russel2000	1.85%
	全戦略平均	7.58%		1.88%

※各指標のベンチマークについて

メジャー100のベンチマークはS&P500、ネクストメジャー100のベンチマークはRussel2000、合成戦略は保有比率でベンチマークを合成したもの

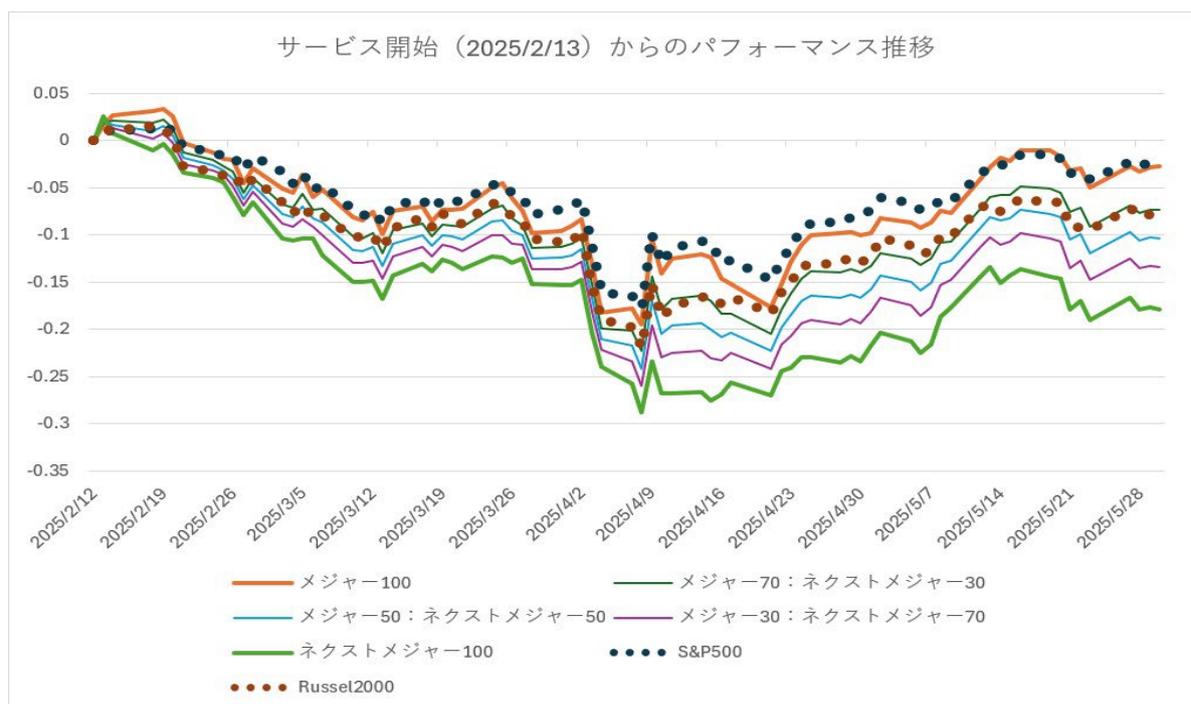
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

Wealth Growth（ウェルスグロス）で最も月間成績が良かった戦略は、「メジャー100」でした。月間で+8.06%、対ベンチマーク比では+1.91%となり、ベンチマークをアウトパフォーム!!

➤ 設定来のパフォーマンス推移グラフ

WealthGrowth（ウェルスグロス）の2025年2月13日（サービス開始）から2025年5月末までの運用実績です。



※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています

➤ 設定来の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
メジャー100	8.06%	0.17%	-	-	-2.70%
ネクストメジャー100	7.09%	-12.18%	-	-	-17.94%
S&P500	6.15%	-0.72%	-	-	-2.32%
Russel2000	5.24%	-4.46%	-	-	-8.30%

■ 5月の市況概況

➤ 米国市場

・第1週 (S&P 500 : +2.44 % NASDAQ : +3.14 % ダウ平均 : +2.83 %)

コンファレンスボード発表の消費者信頼感指数（前月比）が5カ月連続低下、期待指数（前月比）も2011年10月以来の低水準となり、期待指数を構成する「ビジネス環境」「雇用先行き」「収入見通し」の全てが大幅に悪化しました。しかし、自動車部品関税で緩和措置を発表、関税をめぐる交渉が進展するとの期待から6日続伸で始まりまし

た。翌日、商務省が発表した、国内総生産（GDP）速報値は1-3月期-0.3%（前期比年率換算）となり、マイナス成長は22年1-3月期以来となりました。関税が逆風となり、駆け込みで輸入が急増、個人消費は減速しましたが、トランプ政権の強固な関税政策が軟化し始めていることもあり、NYダウ・S&P500は8日続伸となりました。その後、5月のFOMC（連邦公開市場委員会）が開催され、3会合連続で政策金利の据え置きを決定、誘導目標を4.25%～4.5%としました。会合後のパウエル議長の会見では、「関税の打撃が心配されているが、まだ影響は顕在化していない」「（利下げを）急ぐ必要はない、辛抱強くデータを確認する」とし、トランプ政権の利下げ圧力には屈せず「（政権の圧力は）我々の使命に全く影響しない、これまで通り仕事をするだけ」とFRB（連邦準備制度理事会）の独立性を強調しました。概ね予想通りにFOMCが通過したことで市場は反発、さらに、イギリスとの貿易協定に大枠で合意したことが伝わり、NYダウ・S&P500・NASDAQの3指数は揃って上昇しました。

・第2週 (S&P 500 : +5.27 % NASDAQ : +7.15 % ダウ平均 : +3.41 %)

週末の米中協議でお互いの関税を大幅に引き下げることで合意、これを受けNYダウ・S&P500・NASDAQの3指数は揃って大幅上昇で始まりました。しかし、楽観的ムードが広がるも、米国内の医薬品価格の30～80%を引き下げる薬価の大統領令に署名したことで薬品株は暴落、また、ウォルマートはコストの増加に耐え切れず一部商品の値上げに踏み切るもトランプ大統領は「関税を負担せよ」と発言し下落する等、個別銘柄でまちまちの展開となりました。その後、Moody'sが米国債の格付けの最上位から一段引き下げを発表しましたが、関税政策の進展が支えとなり、週を通しては大幅上昇となりました。

・第3週 (S&P 500 : -2.61 % NASDAQ : -2.47 % ダウ平均 : -2.47 %)

4月の景気先行指数が2023年以来の低水準となり、消費者の期待が1月から悲観的になり続けている状況が明らか

かとなるなか、ウクライナ和平が進展するとの期待から3指数揃って上昇で始まりました。しかし、米国債の格下げをきっかけとする財政悪化懸念から反落、翌日には長期国債の入札が不調に終わったことで長期金利が上昇、さらに、財政悪化につながるトランプ大統領肝いりの減税法案が下院で可決、5月PMI速報値（前月比）がモノ・サービスともに平均価格が急上昇、上昇率はコロナ禍でインフレが起きた2022年8月以来の大きさとなり物価動向に懸念が生じました。加えて、トランプ大統領がEUからの輸入品に50%の関税を課す考えを示し、NYダウ・S&P500は4日続落となりました。

・第4週（S&P 500：+1.88% NASDAQ：+2.01% ダウ平均：+2.41%）

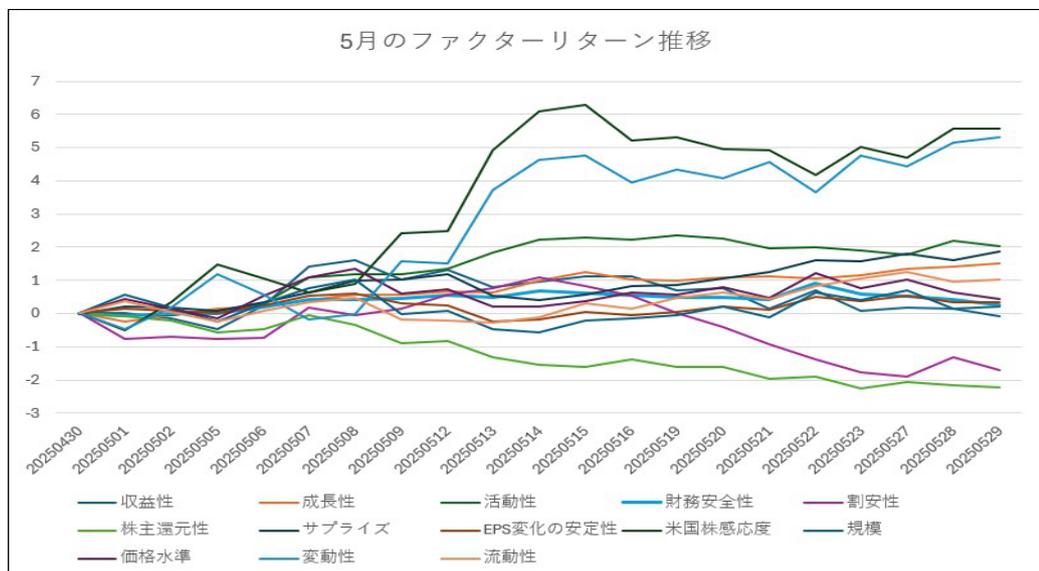
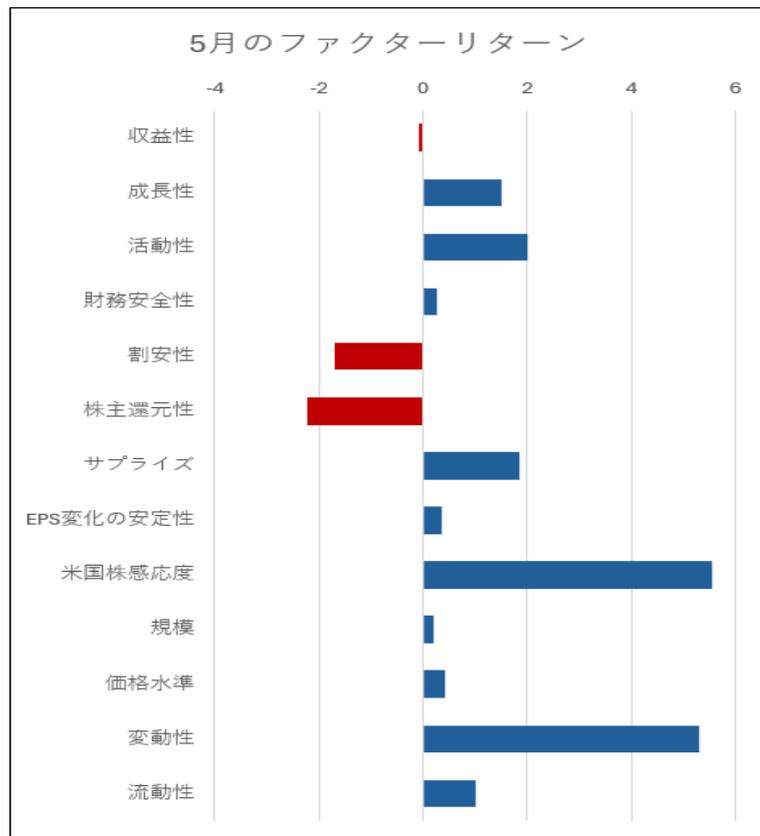
前週発表されたばかりのEUへの50%関税が7月9日まで延期となったこと、さらに、コンファレンスボードが発表した5月の消費者信頼感指数が予想を上回ったことで、上昇から始まりました。翌日には、5月6・7日に開催されたFOMC議事要旨が公表され、参加者による「経済への影響が明確になるまで慎重な姿勢をとることが適切」という認識で一致、また、ほぼ全員による「インフレが予想より長引くリスクがある」との考えが明らかとなり利下げ後退懸念から反落するも、NVIDIAの決算が中国への輸出規制が発表されるなかでも市場予想とほぼ同じと好調であったことで反発、さらに、4月の個人消費支出物価指数（PCE）（前年比）が予想を下回り、コア指数（食品とエネルギー除く）も伸びが鈍化したことで、3指数は揃って上昇となりました。

■ 月間パフォーマンスの背景

➤ ファクター動向

5月は、好業績のハイリスク・グロース株が堅調となりました。

ファクターリターンの推移を見ても、米国株感応度ファクター・変動性ファクター・活動性ファクター・成長性ファクター・サプライズファクターがプラスとなる一方、株主還元性ファクター・割安性ファクターがマイナスとなり、トランプ政権の関税政策が超強硬姿勢から交渉を交えた柔軟な対応へと転換したことで、業績好調にも関わらず大きく売られていた「好業績のハイリスク・グロース株」へ買戻しの資金が向かったことが見てとれます。

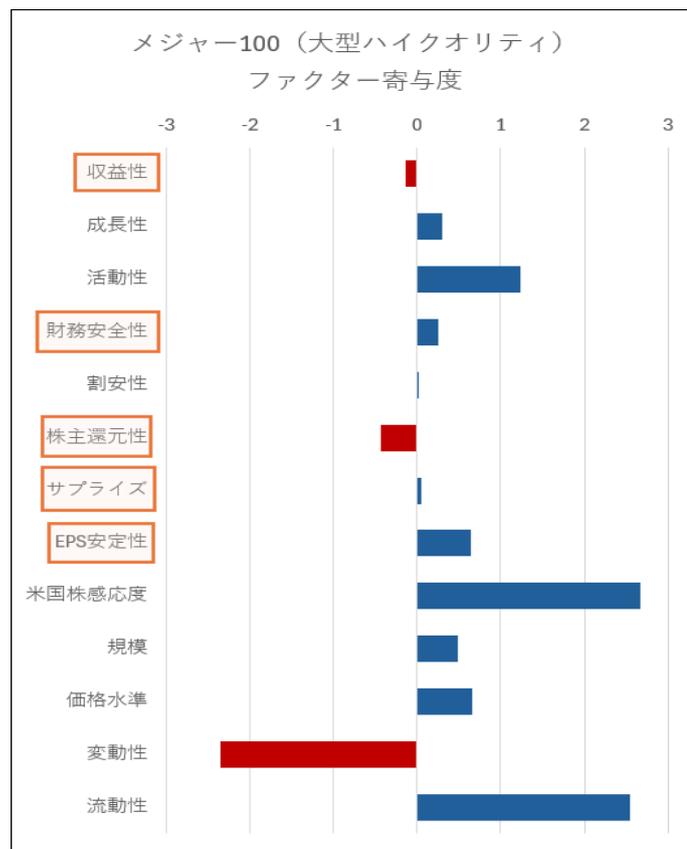


➤ ファクター寄与度

その様な市況環境のなか、Wealth Growth（ウェルスグロース）がご提供している全ての戦略がプラスとなり、全戦略がベンチマークをアウトパフォームする結果となりました。

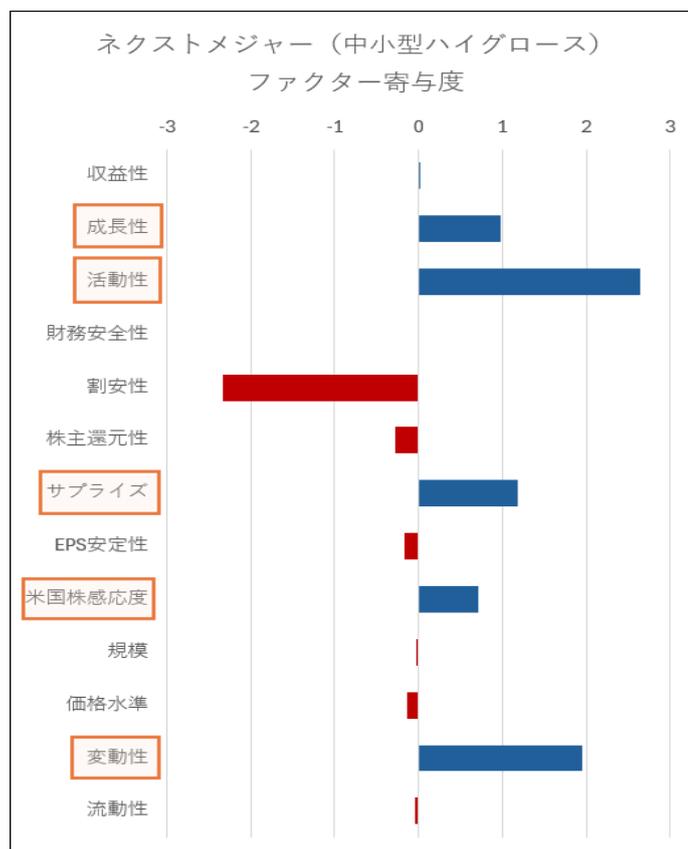
メジャー100（大型ハイクオリティ）がS&P500をアウトパフォームした要因は、市場平均よりもオーバーウエートしている米国株感応度ファクター・流動性ファクター・規模ファクターが大きく寄与したこと、また、メジャー100の最大の特徴であるハイクオリティ特性「高財務安全性・高EPS安定性・高サプライズ（=高い業績変化率）」もプラスに寄与したことにあります。

メジャー100に関しては、ポートフォリオの特徴であるハイクオリティ特性よりも、大型株の特徴である高流動・高株価水準（=値高株）・高米国株感応度（=ハイベータ）といった特性が5月の戻り過程でアウトパフォームにつながりました。



ネクストメジャー100（中小型ハイグロース）がRussel2000を大きくアウトパフォームした要因は、ネクストメジャー100ポートフォリオの最大の特徴であるハイグロース特性「高活動性（=高い総資本回転率）・高変動性（=ハイリスク）・高成長性（=売上高や利益の高い成長性）・高サプライズ（=高い業績変化率）・高米国株感応度（=ハイベータ）」が大きくプラスに寄与したことにあります。

ネクストメジャー100に関しては、上述の通りポートフォリオの特徴であるハイグロース特性で5月の戻り過程をアウトパフォームすることができました。



トランプ政権の関税政策が超強硬姿勢から交渉を交えた柔軟な対応へと転換したことで、業績好調にも関わらず変動性が高いために大きく下落していた「好業績のグロス株」へ買戻しの動きが見られました。

先月は小型株への買戻しの動きは活発とはなりませんでした。先月よりも市場に落ち着きが戻ったことで、小型株にも買戻しの動きが入ったようです。

小型グロス株が最も強い動きをする市況環境は「金融緩和局面」ですが、スタグフレーションに陥らなければ、いずれ緩和局面は訪れるのではないのでしょうか。

それまでは、安心感のある大型ハイクオリティ（メジャー）ポートフォリオのウェートを高めつつ、インフレ鎮静化の動きを見極めながら中小型ハイグロス（ネクストメジャー）ポートフォリオのウェートを徐々に引き上げてみてはいかがでしょうか。

➤ 個別銘柄寄与度

下表の、オレンジ網掛けは今年の高寄与度ファクター、ブルー網掛けは今年の高寄与度ファクター。

また、表の赤い太字は、各ポートフォリオの特徴となるファクター。

メジャー（大型ハイクオリティ）

寄与度上位5銘柄

No	1	2	3	4	5
Tiker	NVDA-US	AMZN-US	MU-US	GOOGL-US	UAL-US
銘柄名	NVIDIA CORP	AMAZON.COM INC	MICRON TECH	ALPHABET INC-A	UNITED AIRLINES
寄与度	2.09%	0.91%	0.78%	0.76%	0.66%
収益性	2.58	0.70	1.03	1.70	0.50
成長性	1.48	0.39	2.00	0.23	-0.48
活動性	0.92	0.80	0.02	0.48	0.51
財務安全性	1.99	0.74	0.91	1.86	-0.42
割安性	-0.73	-0.21	0.56	0.82	1.61
株主還元性	0.44	-0.69	0.51	0.51	-0.69
サプライズ	-0.15	-0.32	-1.22	0.64	-1.13
EPS安定性	3.03	2.06	0.09	2.44	1.10
米国株感応度	1.82	0.86	2.09	0.27	1.90
規模	3.01	3.01	2.03	2.96	1.41
価格水準	1.34	1.64	1.11	1.47	0.97
騰落率	0.43	0.35	-0.02	-0.01	0.01
変動性	0.27	-0.52	0.47	-0.73	0.40
流動性	3.01	3.00	2.51	2.92	1.88

寄与度下位5銘柄

No	1	2	3	4	5
Tiker	MOH-US	DECK-US	CNC-US	ANET-US	AAPL-US
銘柄名	MOLINA HEALTH	DECKERS OUTDOOR	CENTENE CORP	ARISTA NETWORKS	APPLE INC
寄与度	-0.14%	-0.67%	-0.26%	-0.14%	-0.50%
収益性	0.53	1.57	0.10	1.90	2.02
成長性	-0.08	0.50	-0.75	0.71	-0.45
活動性	2.06	1.24	1.81	0.06	1.01
財務安全性	0.39	1.70	0.23	2.85	0.32
割安性	0.65	-0.27	1.50	-0.69	-0.66
株主還元性	-0.69	-0.69	-0.69	-0.69	0.51
サプライズ	-0.33	1.51	0.71	0.33	-0.47
EPS安定性	1.60	3.03	1.73	3.03	0.75
米国株感応度	-1.63	0.78	-1.71	1.36	0.82
規模	1.25	1.30	1.46	2.10	3.01
価格水準	1.95	1.30	0.82	1.11	1.66
騰落率	0.85	-0.64	0.51	0.56	0.10
変動性	-0.33	0.00	-0.81	0.17	-0.50
流動性	1.44	1.48	1.61	2.16	3.01

ネクストメジャー（中小型ハイグロース）

寄与度上位5銘柄

No	1	2	3	4	5
Tiker	MAX-US	PBPB-US	CYH-US	DOMO-US	ODP-US
銘柄名	MEDIAALPHA INC	POTBELLY CORP	COMMNTY HLTH SYS	DOMO INC	OFFICE DEPOT INC
寄与度	1.75%	1.46%	1.26%	0.81%	0.79%
収益性	0.91	0.10	-0.09	-0.45	-0.07
成長性	1.36	0.32	-0.25	-0.17	-1.68
活動性	2.20	1.53	0.68	1.51	1.67
財務安全性	-0.31	-0.46	-1.34	-1.68	-0.44
割安性	0.51	0.34	1.98	-0.63	2.32
株主還元性	-0.69	-0.69	-0.69	-0.69	-0.69
サブライズ	-0.08	-0.32	0.74	1.18	1.62
EPS安定性	0.62	1.11	-1.04	0.91	-0.55
米国株感応度	0.15	0.06	0.30	0.68	0.19
規模	-0.04	-0.26	-0.03	-0.24	-0.06
価格水準	-0.14	-0.17	-0.57	-0.26	0.15
騰落率	-0.54	0.26	1.10	0.81	-0.59
変動性	0.31	0.20	0.41	0.31	0.62
流動性	-0.02	-0.31	0.23	-0.29	0.13

寄与度下位5銘柄

No	1	2	3	4	5
Tiker	AMRK-US	CODI-US	EVER-US	OB-US	SPTN-US
銘柄名	A-MARK PRECIOUS	CMPSS DVRSFD ORD	EVERQUOTE INC	OUTBRAIN INC	SPARTANNASH
寄与度	-0.81%	-0.78%	-0.37%	-0.36%	-0.28%
収益性	-0.38	0.44	0.70	-0.45	-0.17
成長性	-0.48	0.82	1.19	0.47	-1.23
活動性	2.56	0.25	1.80	2.03	2.36
財務安全性	-0.15	-0.70	2.32	1.59	-0.32
割安性	1.49	1.75	0.33	1.57	2.04
株主還元性	0.39	3.01	-0.69	-0.69	1.71
サブライズ	-2.19	1.74	0.73	-1.77	0.20
EPS安定性	-2.23	-1.45	0.00	-0.63	-1.28
米国株感応度	-0.46	0.06	0.48	0.63	-1.62
規模	-0.08	-0.04	0.08	-0.30	0.01
価格水準	0.23	-0.31	0.31	-0.75	0.19
騰落率	-0.85	-1.88	1.02	-1.38	0.56
変動性	-0.24	0.96	0.53	0.14	-1.29
流動性	0.06	0.26	0.29	-0.41	-0.05

■ Wealth Growth 戦略の目的・特色

1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、S & P500 を凌駕するパフォーマンスを目指します

2. 戦略の特色

特色 1 市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います

特色 2 ニューヨーク証券取引所及び NASDAQ に上場する約 5,000 銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します

特色 3 銘柄選択において、大型株（Major）では「高収益性」「高EPS 安定性」「高財務安全性」「高株主還元性（=高配当）」「高サプライズ（=好業績）」によるハイクオリティ特性のモデルを活用、中小型株（Next Major）では「高成長性」「高活動性（=高い総資本回転率）」「高サプライズ（=好業績）」「高米国株感応度（=ハイベータ）」によるハイグロース特性のモデルを活用します。

特色 4 組入れ銘柄数は 20～25 銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクは S & P500 ±10%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

3. 戦略のコンセプト

・Wealth Growth（ウェルス グロース）のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていれば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

① 大型株 (Major)

「高収益」×「EPS 安定」×「財務健全」×「高配当」×「好業績」といった、

ハイクオリティ特性あるファクターを選択し、本質的に価値の高いハイクオリティ銘柄群に投資します。

② 中小型株 (Next Major)

「高成長」×「高活動」×「好業績」×「ハイベータ」といった、

ハイグロース特性あるファクターを選択し、成長性の高いハイグロース銘柄群に投資します。

4. ファクターの説明

Wealth Growth (ウェルス グロース) は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	活動性	総資本回転率、等
4	財務安全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
5	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	サプライズ	経常利益修正率、等
8	EPS安定性	1年EPS変化の安定性、等
9	米国株感応度	米国株感応度60日間、等
10	規模	上場時価総額、等
11	価格水準	株価、等
12	騰落率	60日騰落率、等
13	変動性	ヒストリカルボラティリティ60日、等
14	流動性	売買代金20日平均、等

5. リスク管理

Wealth Growth (ウェルス グロース) は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています

- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています、
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています。
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的によりバランスを行いリスク管理を行っています。

以上

※本レポートは、2025 年 6 月 5 日時点の情報に基づき作成されております。

(提供：株式会社スマートプラス)

投資一任運用サービス WEALTH GROWTH(ウェルスグロース)

免責事項

ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

<業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

重要事項

<手数料など諸費用について>

本サービスをお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、手数料および契約締結前交付書面にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）
- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

<投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該米国上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【流動性リスク】

米国上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化す

ることにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

[投資一任契約の媒介業者]



Jトラストグローバル証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号
加入協会 / 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

[口座管理機関]



株式会社スマートプラス
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号
加入協会 / 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会